

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	遺伝子パネル検査への膵癌検体の提出条件検討
	研究目的	近年、がん患者さんの治療方針決定のために、がんに関わる多数の遺伝子の変異を同時に解析する検査（包括的ゲノムプロファイリング検査／CGP検査）が確立され保険が適応されています。がんの治療に関連する遺伝子変異を同定することで、効果的な治療薬の選択や、実施されている適切な臨床試験を見つけるのに役立つ検査ですが、検査に出す検体の質や量の問題で検査が不可能だったり、限定的な情報しか得られないレポート結果となる場合があります。膵癌での検査では特に限定的なレポートとなることを多く経験しています。この研究では、今までに提出された膵癌検体の条件を抽出し、CGP 検査結果と比較することで、膵癌患者さんの CGP 検査に必要とされる検体条件の検討を行うことを目的としています。
	研究対象者	2019年1月から2022年12月に当院から膵CGP検査に提出された症例
	研究期間	西暦 2023年1月30日～西暦 2025年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の管理について の責任者	当センター 研究責任者	鷺見公太
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	病理診断科、臨床研究所
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし
試料・情報の利用停止および 情報公開に関する窓口	施設名：神奈川県立がんセンター・所属：病理診断科 氏名：鷺見公太・連絡先：045-520-2222	